

市民・地域参加型の持続可能な森林管理とエネルギー自給のためのビジョンづくり

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

山林の間伐地域	564㎡
熱利用設備の設置	1施設
今年度計画の達成度	80%
目標達成度	60%



モデル林で間伐している様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

事業の中で行政の協力は得られたが、期限内に施策に盛り込むための要請ができなかった。活動スタッフの諸事情や西日本豪雨の被災により活動が滞ることがあった。

■ 工夫した点

ストーブ、ボイラー、地域熱供給、バイオマス発電等、さまざまな角度から導入事例を調査し、地域内の多様な熱利用施設の参考にできる見込み。

課題

高梁地域で荒廃している森を整備し、そこから出てくる間伐材等をエネルギー利用することでエネルギーの自給自足や持続可能な地域づくりを進めていくこと。

目標

森林のエネルギー利用への仕組み作りと継続的整備、そのための人材育成、行政の新総合計画に施策として記載されること。

活動内容と成果

- モデル林を3回間伐し、林地産材を搬出、薪に加工。乾燥させ2019年冬から使用。「高梁美しい森ビジターセンター」へ薪ストーブを設置、市内ゲストハウスへ小型ボイラー設置も予定。導入に備えメンテナンス研修を実施
- 行政へ3年間のまとめと提言書を提出。「新総合計画」等の改定時に盛り込むことを要請
- 様々な導入事例を学び、隣接市の企業から移動式チッパー使用が可能と聞き、ビジネスプランの可能性がありと考える



「高梁美しい森」に設置した薪ストーブ

全助成期間の活動を振り返って

荒廃した森林が周囲にありながら、一方で化石燃料に依存している実態を何とかしたく、NPO法人FFPOと連携、間伐や事例調査、小型の設備導入も行ってきたが、製材産業が廃れていて一体的な利用が難しいことも判明。しかし早晩、化石燃料に頼る時代からエネルギー転換を図る必要がある。2018年夏、高梁地域も西日本豪雨で甚大な被害を受けエネルギー・温暖化対策としても森林保全することの重要性を再確認させられた。



岩手県紫波町の地域熱供給を視察

| 活動地域 | 岡山県

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方1-6-7

電話：086-232-0363

E-mail：enemira@okayama.email.ne.jp

http://blog.canpan.info/okayama-enemira/



今後の展望

森林の伐採から燃料消費に至るまでにはいろんなセクターや地域が関係するため、行政が経済と環境の好循環を生むための施策として主導、または公民連携で取り組んでいくことが重要。そうすることで地域の若い人、あるいは地域おこし協力隊員が生業として関わる可能性が出てくものと考えます。FFPOをはじめとして活動を通じて知り合った人たちと協議し、引き続きビジネスプランの作成を検討していきたい。